

<問い合わせ状況 2022年7月>



● 院外処方せんに関連する問い合わせ

当院は院外処方せんを発行しています。処方内容などに疑義が生じた場合の窓口は薬剤師となっており、月に5~10件程度の問い合わせに対応しています。7月の疑義照会は8件で、内容は以下の通りでした。



- 用法用量確認
- 日数調整
- 追加処方希望 (3件)
- 重複処方 (2件)
- その他



● 薬に関する問い合わせ(患者・家族・施設より)

患者さんやご家族、施設の方からの質問にも対応しています。
7月はお問い合わせがありませんでした。

● 薬に関する問い合わせ(院内より)

他部署スタッフからの質問にもお答えしています。7月は記録したもので11件でした(病棟で直接質問されたことは未記載の可能性あります)。

◎がついたものについては回答をDI ニュース No. 448 に記載しています。

- ◎レボドパ製剤とバナナジュースは併用できないのか?
- ◎ツイミーグ®とメトホルミンは似ているのか?
- センノシドを粉砕した場合の安定性は?
→90日間は安定であることが確認されている
- タケキャブ®を粉砕した場合の安定性は?
→14日間。長期保管する場合、主成分が光に弱いため遮光を推奨。
- ◎ファンギゾン®シロップを胃管から注入できるか?
- ◎ネキシウム®カプセルの内容物が茶色が大丈夫か?
- 新型コロナウイルスの患者はピルを服用できるか?
→制限なし。服用2時間以内に嘔吐下痢が生じた場合は再投与を考慮。
- ◎ピル(マーベロン®)と経口コロナ用薬は併用可能か?
- 発疹で強力ネオミノファーゲン®を使用しているが、内服で代わるものがあるか?
→抗ヒスタミン剤やステロイドなど
- レボフロキサシンとセファゾリンを併用中、舌に発赤が生じた。副作用として報告があるか?
→レボフロキサシンには口内炎・舌炎が、セファゾリンには口内炎が頻度不明の副作用として添付文書に記載あり。

